

社会福祉法人幸ヒューマンネットワーク 共同生活援助 ヒューネット幸

令和7年度 第1回地域連携推進会議 議事録

1. 開催概要

開催日時：令和7年11月17日(月)10:10～11:20（会議、シャローム幸・ネクスト幸見学）

令和7年12月5日(金)17:10～17:25（ヒューネット幸・パオ幸見学）

開催場所：シャローム幸食堂

出席者：利用者代表2名
ヒューネット幸管理者

利用者家族代表1名
ヒューネット幸施設長

地域関係者1名

- 議 題：(1) 挨拶
(2) 自己紹介
(3) 地域連携推進会議について
(4) 事業概要説明
(5) 実際の生活について(利用者より)
(6) 質疑応答・感想
(7) 見学会

2. 議事概要

(1) 管理者より挨拶

地域連携推進会議にご出席いただきありがとうございます。今年度から義務化となった会議ですが、本日は職員からの説明やご利用者からの発表を通して関係を深めていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

(2) 自己紹介

各自名前と所属等を発表。

(3) 地域連携推進会議について

『地域連携推進会議の手引き』より抜粋し、地域連携推進会議の主たる目的及び概要の説明を行う。

(4) 事業概要説明

・ヒューネット幸の事業種別・主たる対象・事業目的・事業方針について説明。

・基本的なサービス内容として、以下4点を説明。

①スタッフ体制…（常勤）平日12～20時勤務 ※9～17時、10～18時勤務もあり

＊夜間・休日は緊急電話にて対応

（日中支援）平日10～17時勤務 ※週2～3日程度勤務

（調理）月～土 15～19時勤務

②食事…夕食のみ提供。朝食・昼食は各自で用意。

③主な支援内容…金銭管理、清掃支援、買物同行、電話相談・面談、通院・入院支援、書類作成支援などを個別支援計画に基づいて実施。

④イベント…新年会、バス外出、暑気払いの実施。

・ユニットに関する情報を説明。

南加瀬（ヒューネット幸・パオ幸）と古市場（シャローム幸・ネクスト幸）に計4ユニット設置。

定員は各7名。利用者平均年齢は約54歳。

(5) 実際の生活について(利用者より)

利用者2名よりそれぞれ以下の内容について発表いただく。

①グループホームに入る前の生活

②グループホームで受けている支援

③通所日のスケジュール、休日の過ごし方

④グループホームに入って良かったこと、生活の変化

⑤今後の目標

＊発表後、職員が感じた生活の変化などについても説明。

(6) 質疑応答・感想

<質疑応答>

・全ユニット合計で何居室、何名入居しているか。

→全28居室。現在空室が2居室あるため、26名の利用者が入居中。

・ワンフロアで全員が生活しているのか。

→アパートタイプのため普段は各居室で生活している。夕食時のみユニットごとに食堂に集まっている。

- ・外出時の出入りは自由になっているか。外出し戻って来なかった利用者はいたか。
→外出は自由となっている。過去に病状悪化によりグループホームに戻らず探したことがあったが、適切に治療を受けたことでその後はトラブルなく生活されている。
- ・夜間に緊急電話に入電があり緊急対応することはあるか。
→過去に転倒等による救急搬送があった。頻度としては年1回あるかどうか程度。

<感想>

- ・利用者の発表や事業説明を通してヒューネット幸のことを少しでもご理解いただけたら有難い。この会議が顔の見える関係づくりの一步となると良い。
- ・保佐人として毎月訪問しているためどのような事業所かは分かっていたつもりだが、自分の知らない利用者から生活のことを聞いたのはとても良かった。
- ・利用者が自分のことを自ら発信できることに感心した。通所先のすぐ近くに住んでいるため、顔を覚えてもらい、道で会った時は挨拶しましょう。
- ・緊張したが、グループホームのことを知ってもらえて良かった。ここは本当に楽しいところなので、ぜひまた来てください。
- ・ヒューネット幸について知っていただく機会ができ、大変有難く思っている。この後の見学会でさらに当グループホームについて知っていただけると良いと思っている。

(7) 見学会

①シャローム幸・ネクスト幸

シャローム幸（食堂・自動消火設備・事務所）→ネクスト幸（駐輪場・食堂・事務所・居住スペース）の順に見学及び説明を行う。

<感想>

- ・自動消火設備はとても大きいと思った。これだけの設備があれば安心して暮らせると感じた。
- ・居室の広さも1人暮らしであれば充分であると感じた。

<質疑応答>

- ・居室のキッチンを実際に利用されているのか。
→全員が使用しているわけではないが、利用者の中にはご自身で好きな料理を作っている方もいる。
- ・自転車を利用されている方はいるのか。
→利用者の中には自転車でスーパーやコンビニエンスストアに行っている方もいる。

②ヒューネット幸・パオ幸

ヒューネット幸(事務所・食堂)、パオ幸(非常用備蓄品置き場・食堂・事務所・居住スペース)の順に見学及び説明を行う。

居住スペースの見学では、実際に利用者が住まわれている居室を見学。自己紹介後、ご利用者から日中活動や居室での過ごし方について説明いただく。普段の生活について、近隣のコンビニエンスストアで食事を購入していることや、冷蔵庫に好きな飲み物を入れているといった話があった。

〈感想〉

- ・シャローム幸やネクスト幸も見学したが、また違ったところがあると思った。パオ幸の食堂なども見る事が出来て良かった。